

# Solidifying

## #1～#6

原田和馬

「Solidifying」は「時間軸を持った写真表現」を標榜する作品シリーズである。本作品は形式としては長大な尺を持った動画ファイルをループ再生している。しかし、そのことからこの作品を映像作品とカテゴライズすることはできない。非常に緩慢な時間感覚によって像が変化をする様相は、極めて静止画に近い振る舞いをしているからだ。

後述する《Layering 2012-2017》での作品も含め、筆者の作品はレイヤーで重ね合わされた複数枚の写真がデジタル合成されることによって像が生み出されている。「Solidifying」ではこのレイヤー構造に着目し、それぞれのレイヤーの不透明度を時間軸とともに変化させることによって動きを生み出した。それぞれ作品には 10 枚前後のレイヤーが存在し、それぞれの不透明度が常に平行に変化し続けている。それはまるで写真が凝固するような様相(=solidifying)を見せる。レイヤー構造を持った写真に時間軸を与えたことは、これまでの表現ジャンルに属さない(同時にあらゆるジャンルへと応用できる可能性を持った)新たな写真表現を生み出した。

## Layering 2012-2017

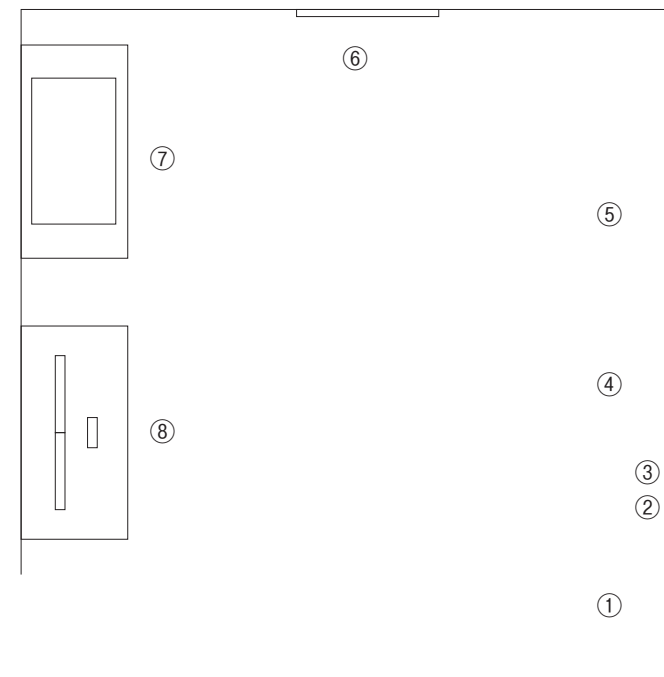
修士作品「Solidifying」シリーズが制作される大きなきっかけとなったのが《Layering 2012-2017》である。2017年1月、IAMAS 年次制作発表会において発表された本作品は3つの同期した55inchディスプレイからなるマルチ・チャンネル映像作品である。本展示では2台のディスプレイと印刷されたカレンダー、ライトボックスへと再構成した。

2012年1月から2017年1月までの5年間に制作され、Tumblr ブログにアップロードされた700以上のGIFアニメーション/静止画作品を三つの異なる形式で時系列順に追っていく。それぞれ『Twitter ログ』『1枚の作品』『カレンダー上に配置された作品』、という構成になっており、一月を単位として61ヶ月のシーケンスで5年間を振り返る。

修士作品「Solidifying」は、作者がこれまで制作してきたこれらの作品群を発展させたものであり、一つのバージョンである。写真を重ね合わせることで像を作り出すこと、そしてインターネット上で流通するGIFアニメーションのような、静止画フォーマットであるにもかかわらず動的に振る舞う表現の存在が大きく影響している。そのことから「Solidifying」とともにここに本作品を置くこととした。本作品と修士作品との関係性、あるいはGIFアニメーションのような映像と静止画の中間のような振る舞いをする表現との関連については修士論文において考察を行っている。

\* 修士論文は web サイトにて公開しています。

<http://kazumaharada.org>



### 作品リスト

- ① 《Solidifying #1》 2017, loop video, 24inch LCD monitor
- ② 《Solidifying #5\_portrait》 2018, loop video, 7inch tablet
- ③ 《Solidifying #5》 2018, loop video, 7.9inch tablet
- ④ 《Solidifying #3》 2017, loop video, 24inch LCD monitor
- ⑤ 《Solidifying #5》 2017, loop video, 55inch LCD monitor
- ⑥ 《Solidifying #2》 2017, loop video, 55inch LCD monitor
- ⑦ 《Solidifying #6》 2018, loop video, 55inch LCD monitor
- ⑧ 《Layering 2012-2017》 2017, 27inch LCD monitor, calendar